

平成 30 年度 5 月定例記者会見 次第

日時：5 月 25 日（金）13 時 30 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部 総務部、健康増進部、教育部、企画部

関係課 総務課、財政課、介護・高齢者支援課、学校教育課、文化課、
地域振興課

1 市長あいさつ

2 6月のイベント

イベント情報

3 案件

（1）平成 30 年糸島市議会 6 月定例会提出議案について

（総務課） 資料 1

（2）平成 30 年度 6 月補正予算の概要について

（財政課） 資料 2

（3）第 2 回三者協定成果報告会の開催について

（介護・高齢者支援課） 資料 3

（4）ICT を活用した英語授業の試験的導入について

（学校教育課） 資料 4

（5）国宝「内行花文鏡」（平原遺跡出土）複製鏡の寄贈について

（文化課） 資料 5

（6）糸島ライフガイドブック完成について

（地域振興課） 資料 6

4 市長短信

短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：6 月 25 日（月）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

平成30年糸島市議会6月定例会提出議案について

6月1日から開会予定の糸島市議会6月定例会に付議する議案を、本日送付いたしました。

案件といたしましては、議案第42号「専決処分について(糸島市税条例等の一部を改正する条例)」から議案第59号「平成30年度糸島市一般会計補正予算(第2号)」までの18議案のほか、報告7件を提案させていただくこととしております。

提出議案 18件

専決処分議案〔3件〕

糸島市税条例等の一部を改正する条例
糸島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
訴えの提起

協議議案〔6件〕

福岡都市圏広域行政推進協議会規約の一部変更に関する協議について
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合格約の変更について
福岡都市圏広域行政事業組合格約の一部変更に関する協議について
福岡県後期高齢者医療広域連合格約の一部変更に関する協議について
福岡都市圏の市町の図書館等を相互に他の市町の住民の貸出利用に供することの一部変更に関する協議について
福岡都市圏の市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することの一部変更に関する協議について

条例議案〔3件〕

【全部改正条例1件】

糸島市表彰条例について

【一部改正条例2件】

糸島市税条例等の一部を改正する条例について
糸島市ホテル及び旅館に係る固定資産税の特例に関する条例及び糸島市旅館等の建築等の適正化に関する条例の一部を改正する条例について

その他の議案〔5件〕

財産の貸付けについて
工事請負契約の締結について(糸島市防災行政無線戸

別受信機整備工事)
工事請負契約の締結について(糸島市し尿処理センター
一基幹的設備改良工事)
糸島市における市街地の区域の変更及び当該区域にお
ける住居表示の方法について
市道路線の認定について

補正予算〔1件〕 平成30年度糸島市一般会計補正予算(第2号)

報告 7件

糸島市土地開発公社の経営状況について
株式会社志摩海洋センターの経営状況について
平成29年度糸島市一般会計継続費繰越計算書の報告について
平成29年度糸島市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成29年度糸島市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
議会の委任による専決処分について(市が管理する林道法面からの落石による車両
事故の損害賠償及び和解)
議会の委任による専決処分について(イラストレーションの無断使用に係る損害賠
償及び和解)

議案の内容といたしましては、

専決処分議案(3件)

【税務課】

議案第42号 専決処分について(糸島市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法等の一部を改正する法律が平成30年3月31日に公布され、平成30年
4月1日の施行となったことに伴い、糸島市税条例等について所要の改正を行うこと
に急を要したため、専決処分を行い、これを報告し、承認を求めるもの。

【国保年金課】

議案第43号 専決処分について(糸島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

地方税法施行令等の一部を改正する政令が平成30年3月31日に公布され、平成
30年4月1日の施行となったことに伴い、糸島市国民健康保険税条例について所要
の改正を行うことに急を要したため、専決処分を行い、これを報告し、承認を求め
るもの。

【施設管理課】

議案第44号 専決処分について(訴えの提起)

住宅使用料等に係る支払督促の申立てを行ったところ、相手方から督促異議の申立
てがなされたことから、民事訴訟法の規定により訴訟に移行することとなったが、平
成30年4月27日までに訴状に代わる準備書面を提出することに急を要したため、

専決処分を行い、これを報告し、承認を求めるもの。

協議議案(6件)

【経営戦略課】

議案第45号 福岡都市圏広域行政推進協議会規約の一部変更に関する協議について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡都市圏広域行政推進協議会規約を変更するため、議会の議決を求めるもの。

【警防課】

議案第46号 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合格約の変更について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合格約を変更するため、議会の議決を求めるもの。

【経営戦略課】

議案第47号 福岡都市圏広域行政事業組合格約の一部変更に関する協議について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡都市圏広域行政事業組合格約を変更するため、議会の議決を求めるもの。

【国保年金課】

議案第48号 福岡県後期高齢者医療広域連合格約の一部変更に関する協議について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡県後期高齢者医療広域連合格約を変更するため、議会の議決を求めるもの。

【文化課】

議案第49号 福岡都市圏の市町の図書館等を相互に他の市町の住民の貸出利用に供することの一部変更に関する協議について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡都市圏の市町の図書館等を相互に他の市町の住民の貸出利用に供することを変更するため、議会の議決を求めるもの。

【生涯学習課】

議案第50号 福岡都市圏の市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することの一部変更に関する協議について

平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡都市圏の市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することを変更するため、議会の議決を求めるもの。

条例議案(3件)

〔全部改正(1件)〕

【秘書広報課】

議案第51号 糸島市表彰条例について

表彰の種類、対象等を見直すため、糸島市表彰条例の全部を改正するもの。

〔一部改正(2件)〕

【税務課】

議案第52号 糸島市税条例等の一部を改正する条例について
地方税法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【商工観光課、都市計画課】

議案第53号 糸島市ホテル及び旅館に係る固定資産税の特例に関する条例及び糸島市旅館等の建築等の適正化に関する条例の一部を改正する条例について
旅館業法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

その他の議案(5件)

【商工観光課】

議案第54号 財産の貸付けについて
公有財産である糸島市役所第三別館を貸し付けるため、議会の議決を求めるもの。
貸付価格 年額172万8,000円
貸付期間 契約を締結した日から5年間
契約の相手方 富士通コミュニケーションサービス株式会社
代表取締役社長 乙黒 淳

【危機管理課】

議案第55号 工事請負契約の締結について(糸島市防災行政無線戸別受信機整備工事)
糸島市防災行政無線戸別受信機整備工事を施工するため、工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの。
契約金額 1億5,693万4,800円
契約の相手方 日本無線株式会社 九州支社
支社長 不老 康美

【生活環境課】

議案第56号 工事請負契約の締結について(糸島市し尿処理センター基幹的設備改良工事)
糸島市し尿処理センター基幹的設備改良工事を施工するため、工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの。
契約金額 4億5,360万円
契約の相手方 浅野環境ソリューション株式会社 九州支店
支店長 古庄 春行

【市民課】

議案第57号 糸島市における市街地の区域の変更及び当該区域における住居表示の方法について

住居表示を実施するに当たり、市街地の区域を変更することに伴い、議会の議決を求めるもの。

【建設課】

議案第58号 市道路線の認定について

市道路線(6路線)を認定するため、議会の議決を求めるもの。

平成30年度補正予算(1件)

【財政課】

議案第59号 平成30年度系島市一般会計補正予算(第2号)

今回の補正:8億7,064万6千円を追加し、予算総額345億5,246万2千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

報告(7件)

【商工観光課】

報告第1号 系島市土地開発公社の経営状況について

本市が出資している団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、議会に提出するもの。

【農林水産課】

報告第2号 株式会社志摩海洋センターの経営状況について

本市が出資している団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、議会に提出するもの。

【財政課】

報告第3号 平成29年度系島市一般会計継続費繰越計算書の報告について

庁舎改修事業ほか2事業を翌年度に繰り越したため、地方自治法施行令第145条第1項の規定により、議会に報告するもの。

(総額850,209,361円)

- ・ 庁舎改修事業(総務費) 38,705,000円
- ・ 新駅関連施設整備事業(自由通路及び駅舎等)(土木費) 688,153,125円
- ・ 加布里小学校校舎大規模改造事業(教育費) 123,351,236円

【財政課】

報告第4号 平成29年度系島市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

地域介護・福祉空間整備等事業ほか9事業を翌年度に繰り越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、議会に報告するもの。

(総額600,143,032円)

| | |
|-----------------------|--------------|
| ・地域介護・福祉空間整備等事業(民生費) | 1,620,000円 |
| ・民間保育所施設整備事業(民生費) | 126,000,000円 |
| ・放課後児童クラブ整備事業(民生費) | 1,773,000円 |
| ・新田久保田線整備事業(土木費) | 45,060,400円 |
| ・新駅北口停車場線整備事業(土木費) | 200,173,000円 |
| ・橋梁長寿命化修繕事業(土木費) | 14,500,000円 |
| ・二丈コミュニティプラザ整備事業(土木費) | 12,786,000円 |
| ・防災行政無線整備事業(消防費) | 164,776,000円 |
| ・小学校空調設備整備事業(教育費) | 6,351,000円 |
| ・旧深江公民館解体事業(教育費) | 27,103,632円 |

【業務課】

報告第5号 平成29年度糸島市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

公共下水道事業を繰り越したため、地方公営企業法第26条第3項の規定により、議会上に報告するもの。

・公共下水道事業 118,400,000円

【農林水産課】

報告第6号 議会の委任による専決処分について(市が管理する林道法面からの落石による車両事故の損害賠償及び和解)

市が管理する林道法面からの落石による車両事故の損害賠償及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第2項の規定により、議会上に報告するもの。

[事故の概要]

市が管理する林道を相手方の車両が走行中、林道法面から落石が発生し、相手方の車両の前部バンパーに接触した。これにより、相手方車両の前部バンパーが損傷した。

過失割合 市 100% 相手方 0% 損害賠償額 486,000円

【学校教育課】

報告第7号 議会の委任による専決処分について(イラストレーションの無断使用に係る損害賠償及び和解)

イラストレーションの無断使用に係る損害賠償及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第2項の規定により、議会上に報告するもの。

[事件の概要]

糸島市教育委員会が主催する小学校音楽会のために作成したポスター、チラシ及びプログラムに、相手方の共同著作物であって、相手方が著作権を有するイラストレーションを無断で使用した。これにより、相手方が市に対し、損害賠償金として使用料等相当

額を請求した。

損害賠償額 270,000円

問い合わせ先

総務部 総務課 (担当:平野)

TEL 323-1111(代表) 内線1210

332-2100(直通)

平成30年度6月補正予算の概要

一般会計補正予算（第2号）

| | |
|---------|----------------|
| 補正額 | 8億7,064万6千円の追加 |
| 補正後予算総額 | 345億5,246万2千円 |

平成30年度一般会計当初予算は、1月に市長選挙を控えていたため、義務的経費、経常的経費及びすでに着手している継続事業等を中心に「骨格予算」として編成していました。

今回の6月補正予算は、「肉付け予算」として、政策的な判断を要した経費に加え、早期に着手すべき事業や重点的に実施すべき施策を中心に編成しています。

特色 ～「オンリーワンのまち」を目指した10項目の公約の実現～

本補正予算では、公約実現化プランに掲げる10項目の公約の実現に向けた各種事業に係る経費を計上しています。

なお、補正財源として、県支出金、市債、ふるさと応援寄附金等を活用しています。

【市長公約】

- 1 災害に強いまちづくり
- 2 子育て全力応援のまちづくり
- 3 教育力向上のまちづくり
- 4 地域福祉と健康寿命を延ばすまちづくり
- 5 糸島ブランドを生かした産業振興と定住促進のまちづくり
- 6 自然を守り、環境にやさしい循環型まちづくり
- 7 市民協働と男女共同参画のまちづくり
- 8 九州大学と連携した学術研究都市づくり
- 9 将来を見据えた持続可能な自治体経営
- 10 糸島市の夢プロジェクト事業構想

補正後予算のすがた ～予算規模は、H29年度当初から微増～

本補正予算の追加により平成30年度の通常予算となりますが、前年度当初予算と比較すると1億7,173万円、0.5%の微増となっています。

| 平成30年度 | | | 平成29年度 | 比較 (A - B) |
|---------------|----------------|---------------|--------------|----------------------|
| 当初予算額 【骨格】 | 6月補正額 【肉付け】 | 補正後予算額 (A) | 当初予算額 (B) | |
| 337億6,640万円 | 8億7,065万円 | 345億5,246万円 | 343億8,073万円 | 1億7,173万円 (+0.5%) |

一般会計；歳出

単位：万円

| 公約・事業名 | | 概要 | 補正額 | 所管課 |
|------------------------|--------------------------|---|--------|------------|
| 公約1 災害に強いまちづくり | | | | |
| | 原子力防災用大型自動車運転免許取得事業 | 国の交付金を活用し、市職員が第一種大型自動車運転免許を取得します。 | 106 | 危機管理 |
| | 校区避難所運営訓練事業 | 災害時に体育館に市民が避難することを想定し、校区単位における受付・炊き出し・段ボールベッド設営等の訓練を行います。 | 69 | 危機管理 |
| | ため池防災対策事業 | H23年度に調査した結果を基に、老朽化した農業用ため池施設や危険個所の改修工事を4箇所行います。 | 400 | 農林水産 |
| 公約2 子育て全力応援のまちづくり | | | | |
| | 特別支援学校用地取得事業 | 県立特別支援学校設置に向け、建設用地の取得を推進します。 | 25,000 | 学校教育 |
| | 次世代育成支援対策行動計画等策定事業 | 子育て家庭の実態と子育てニーズ等をアンケートにより把握し、計画策定の基礎資料とします。 | 245 | 子ども |
| 公約3 教育力向上のまちづくり | | | | |
| | 姫島小学校校舎外壁改修事業 | ふるさと応援寄附金を活用して姫島小学校校舎の外壁を改修します。 | 799 | 教育総務 |
| | 小・中学校施設改修事業【拡充】 | 小・中学校の小規模営繕工事を行い、事故防止、施設の長寿命化を図るため、1校当たり100万円増額します。 | 2,200 | 教育総務 |
| | 不登校対応指導員配置事業 | 不登校からの復帰支援を行うため、家庭訪問や他機関と繋いだりする指導員を2名配置します。 | 372 | 総務 学校教育 |
| | I C T教育充実事業 | 小学校特別支援教育で効果的な教育を進めるために国語と算数のアプリケーションを搭載したタブレットを全校に配布します。 | 178 | 学校教育 |
| 公約4 地域福祉と健康寿命を延ばすまちづくり | | | | |
| | シニアクラブ元気化事業（ヤングシニア生きいき分） | 高齢者の生きがいづくりと健康づくりを推進するため、シニアクラブのサークル活動に対して助成を行います。 | 175 | 介護・高齢者支援 |
| | プロモーション事業（ヤングシニア生きいき分） | 福岡市と連携し、ヤングシニアに係る情報発信やイベントを実施します。 | 200 | 介護・高齢者支援 |

| 公約 5 糸島ブランドを生かした産業振興と定住促進のまちづくり | | | | |
|---------------------------------|---------------------|--|-------|------------------|
| | 担い手農家支援事業 | これまでの市単独補助事業を利用しやすいように、対象者や補助率、対象の見直しを行い、支援を行います。 | 1,400 | 農業振興 |
| | 直売所活性化事業 | 市内18ヶ所ある直売所の活性化を図るため、施設改修やイベント開催、ネットワーク構築の支援を行います。 | 130 | 農業振興 |
| | カキ小屋整備事業 | 仮設建築物での営業から常設の施設へと転換するため、施設整備する漁協に対し、補助します。 | 750 | 農林水産 |
| | 観光のまちづくり事業 | 福岡市、唐津市、松浦市、平戸市と連携し、国のビジットジャパン地方連携事業を活用し、香港の個人旅行者をターゲットに情報発信を行います。 | 40 | 商工観光 |
| 公約 6 自然を守り、環境にやさしい循環型まちづくり | | | | |
| | エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 | 経済産業省の補助事業を活用し、公民館や健康福祉センター等の公共施設に太陽光発電を設置します。 | 1,357 | 教育総務 介護・高齢者支援 |
| | 耕作放棄地対策事業 | 耕作放棄地の再生利用を促進するとともに、耕作放棄地発生を抑制する活動に対し、支援を行います。 | 430 | 農業委員会 |
| 公約 7 市民協働と男女共同参画のまちづくり | | | | |
| | 女性が輝くミライ事業 | 若年者を対象に、啓発冊子の配布や職場体験交流会、ジェンダーの視点からのキャリア教育出前講座等を実施します。また、起業や再就職を希望する女性を対象に就職支援講座を開催します。 | 169 | 人権・男女共同参画推進 |
| 公約 8 九州大学と連携した学術研究都市づくり | | | | |
| | 九州大学連携交流事業 | 九大と市民連携による先進的な取組等に対する補助や中学生のための九大模擬授業、水素エネルギー学習体験事業等を実施します。 | 150 | 地域振興 |
| | 組織対応型連携事業 | 地域課題の解決に有効と判断される研究等について、個別契約を締結し、組織として共同で研究を進めます。H30年度はサイエンスパーク構想策定等をテーマとします。 | 702 | 地域振興 |
| | 九大寺子屋事業 | 九大生が小学校（H30年度は8校）に出向き、1クラス5人程度で児童（5年生）に授業を行います。 | 160 | 地域振興 |
| | 九州大学等連携研究事業 | 本市の地域課題の解決に資する研究をされる九州大学及び中村学園大学の研究者に対し、研究助成金を交付します。 | 510 | 地域振興 |

| 公約 9 将来を見据えた持続可能な自治体経営 | | | | |
|------------------------|-----------------------|--|-------|----------------------|
| | 公共施設マネジメント推進事業 | 公共建築物の劣化診断等を行い、今後の施設改修及びその費用の概算を把握し、第1期アクションプランに反映します。H30年度は、健康福祉センター「あごら」を調査対象とします。 | 78 | 公共施設マネジメント推進 |
| | 体育施設インターネット受付システム導入事業 | 体育施設の利用受付を、現在の窓口のみの受付からインターネットからも申し込みできるようにします。 | 200 | 生涯学習 |
| | 庁舎等照明機器改修事業 | 庁舎等の公共施設の照明を、計画的にLED照明に切り替えていきます。H30年度は白糸の滝ふれあいの里及び加布里公民館を予定しています。 | 1,269 | 商工観光 教育総務 生涯学習 |
| 公約 10 糸島市の夢プロジェクト事業構想 | | | | |
| | 公共交通網形成計画推進事業 | H28年度に策定した「糸島市地域交通網形成計画」の事業計画に基づき、公共交通マップや総合時刻表を作成します。 | 208 | 地域振興 |

第2表 継続費

新規【2款1項7目】経営戦略課

運動公園等整備事業（事業者公募業務支援委託）

補正額 27,810千円 期間 平成30年度～平成31年度

第3表 債務負担行為補正

追加【2款1項7目】経営戦略課

第2次糸島市長期総合計画策定支援業務委託

限度額 12,056千円 期間 平成31年度～平成32年度

第2回三者協定成果報告会の開催について (糸島市・九州大学・住友理工 連携の成果を報告)

平成28年4月、糸島市・九州大学・住友理工が連携し「健康・医療・介護に関わる産学官連携」などを目的に開設した「ふれあいラボ」も3年目を迎えました。中高年層の健康・生きがいづくり活動の活性化、ブーム化を目的とした「糸島市ヤングシニア生きいきプロジェクト」とも連携し、「健康長寿のまち糸島」を目指して活動しています。

【成果報告会概要】

日時：平成30年6月28日(木) 13時30分～15時30分
場所：伊都文化会館 多目的ホール(糸島市前原東二丁目2-7)
定員：200名
内容：

ヤングシニア生きいきプロジェクトにおける取組
(トレーニングスタートアップ教室等)
糸島市フレイル疫学研究における取組
(運動指導の効果を検証する介入事業へ向けた調査等)
歩行アシスト・スーツにおける取組 他

参加費：無料(事前申し込み不要)

出席予定：糸島市長 月形祐二、九州大学理事・副学長 若山正人、
住友理工株式会社 代表取締役・取締役会長 西村義明

活動報告に係る問い合わせ：ふれあいラボ 092-327-8181

ふれあいラボについて

ふれあいラボはそれぞれの機関が有する資源を結び付け、地域包括ケアシステムの推進を始めとする健康、医療、介護に関する地域福祉の向上、研究教育活動の推進、技術開発による産業の高度化や新産業の創出を進めています。

開所時間：10時～16時

休館日：日曜日・月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)

展示物：歩行アシスト・スーツ、足圧計(転倒リスク発見システム)等
主な取り組み

- (1) 歩行アシスト・スーツ等、健康・医療・介護に関する研究、実証
- (2) 糸島市内の健康・介護・医療に係る関係団体のネットワークの構築
- (3) 糸島市で展開する健康づくり・介護予防に係る事業との連携

【問い合わせ先】

糸島市 健康増進部 介護・高齢者支援課(担当：島田・小林)
電話 092-323-1111(代) 092-332-2070(直通)
内線 1561

ふれあいラボ 活動報告

参加費無料
申込不要



～ “健康長寿のまち糸島” をめざして～

2016年4月、糸島市、九州大学、住友理工が連携し開設した「ふれあいラボ」も今年3年目を迎えました。糸島市が2016年度に始めた「ヤングシニア生きいきプロジェクト」とも連携し、「健康長寿のまち糸島」を目指して活動しています。昨年は「糸島フレイル疫学研究」など様々な取り組みを行いました。今後も「健康づくり」「介護予防」「フレイル予防」に取組みます。今回、これまでの活動実績と今後の活動計画を御報告いたします。みなさまのお越しをお待ちしております。

※「フレイル」とは加齢とともに身体機能や認知機能が低下し体が弱り始めた状態のことです。

日時 2018年**6月28日(木)**

13:30～15:30

(13:00～受付)

会場 伊都文化会館 多目的ルーム

(糸島市前原東2丁目2-7)

定員 200名



筑前前原駅より徒歩約10分

■開会あいさつ

■活動報告

- ① ふれあいラボ活動概況 武田 昌彦 (住友理工(株)担当部長)
- ② ヤングシニア生きいきプロジェクトについて 糸島市 トレーニングスタートアップ教室について
- ③ 糸島市フレイル疫学研究 熊谷 秋三 (九州大学キャンパスライフ・健康支援センター 教授)
- ④ 歩行アシストスーツのリハビリ分野応用における歩容改善 山本 元司 (九州大学工学研究院 教授)
- ⑤ 産学官連携によるふれあいラボでの取り組み 九州大学 学術研究・産学官連携本部
- ⑥ 九州大学があるまちづくり 都甲 康至 (九州大学芸術工学研究院 教授)



ふれあいラボ
体験コーナー
もあります!

■質疑応答

主催 糸島市 九州大学 住友理工(株)

お問い合わせ

ふれあいラボ

092-327-8181

小学校における英語教育の充実に向けて

ICTを活用した授業の試験的導入

1 概要

(1) ねらい

現在、小学校外国語活動の目的は、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うこと」となっており、この目的を達成するための方策の一つとして、ICT（情報通信技術）を活用した授業づくりを試みる。

(2) スカイプについて

スカイプとは、インターネット回線を利用してテレビ電話等が無料でできるマイクロソフト社が提供するソフトウェアである。

このスカイプの利用により、授業中にタブレット等の画面を通して、海外の外国人の方々と直接会話が可能になる。

2 ICTを活用した英語授業の具体的な試み

(1) 対象

糸島市立怡土小学校 第5学年児童

(2) 期間

平成30年5月21日からスタート。
月に2回、6か月間にわたる全12回を予定。

(3) 具体的な活動

前の時間までに学んだ英語表現を用いて、第5学年の児童が少人数（5名一組の活動班）で、特定の外国人講師（フィリピンのセブ島在住）とタブレット等の画面を通して、直接会話する。この活動により、学んだ英語が実際に相手に通じることの喜びを味わったり、通じない場合の問題点等を確認したりしながら、英語の表現や発音の習得、さらには異文化理解や海外への好奇心を高める。

(4) 特定の外国人講師（フィリピンセブ島在住）について

この授業で児童と直接会話する外国人講師7名については、福岡でも有名な英会話教室に無償で協力をいただいている。

(5) タブレット等の環境について

平成28年度～29年度の2年間に、市内の全小学校で児童用パソコン（パソコン教室等）の入替を行い、「キーボード脱着式のノート型PC」を導入した。このうち、英語授業で使用する7台にスカイプをインストールして用いる。

(6) その他

平成28年度には、中学校1校（糸島市立福吉中学校）において、スカイプを活用してインドネシアの中学生と遠隔交流事業を実施したこともある。

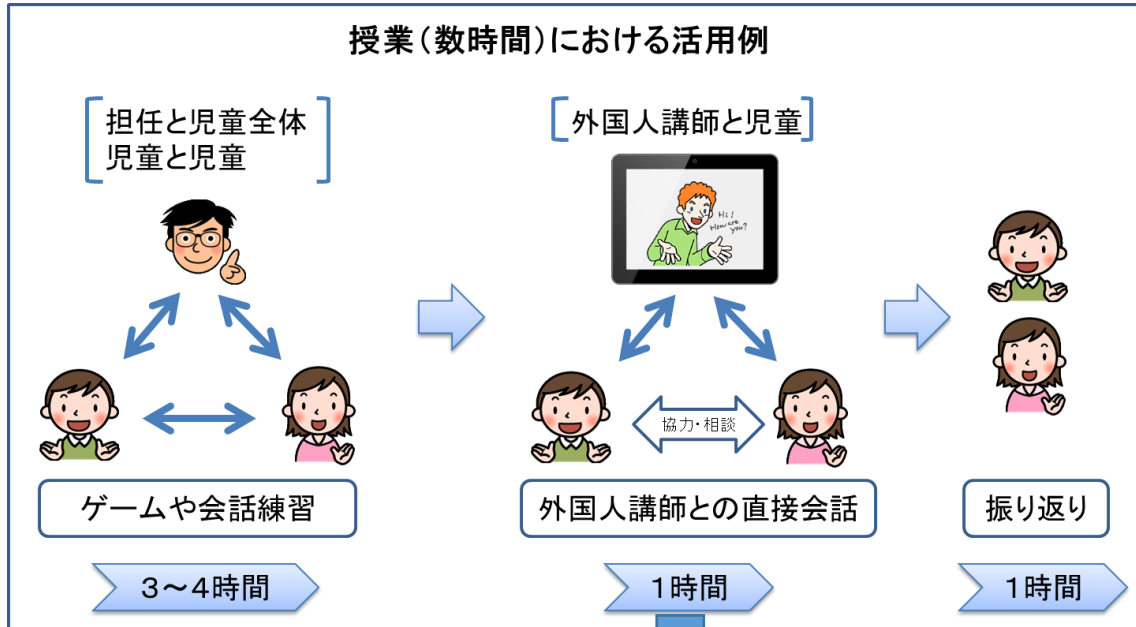
【問い合わせ先】教育部 学校教育課 指導係：担当 東定 荘士郎

英語教育コーディネーター 有田 英二

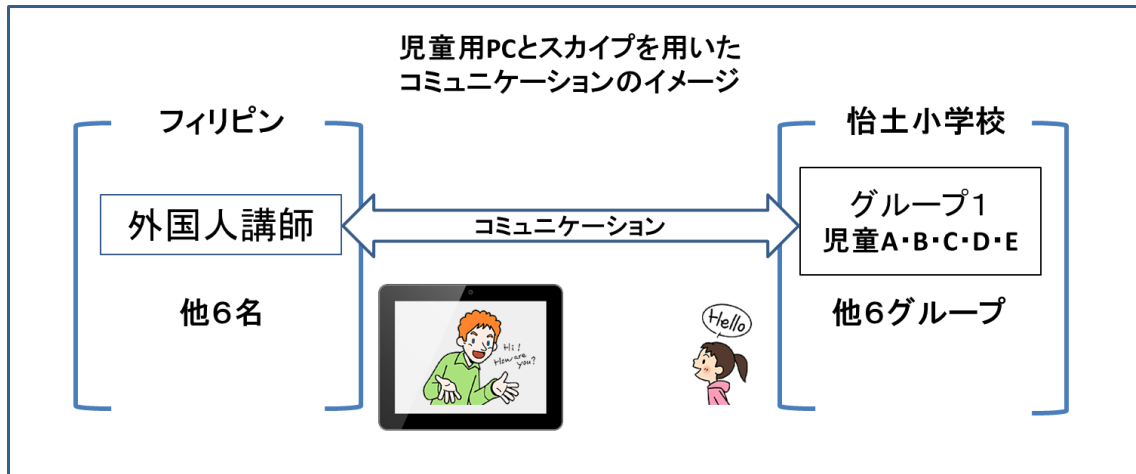
TEL：323-1111（内線2124）／332-2097（直通）

(ICTを活用した英語授業のイメージ)

- 児童は、事前の授業で、基本的な英語表現を学習してから、この授業に臨む。
- 特定の外国人講師は、事前に授業で児童が用いる英語表現の範囲を確認。
- 児童5人で協力・相談しながら、伝えたい内容が伝わるように、ジェスチャーや表現の言い換え等を工夫する。



- 児童5人一組の活動班で、特定の外国人講師とタブレット画面を通して直接会話。



定例記者会見資料

平成30年5月25日

教育部文化課

国宝「内行花文鏡」(平原遺跡出土)複製鏡の寄贈について

このたび平原遺跡出土の国宝「内行花文鏡」の複製鏡を糸島市にご寄贈いただくことになりました。つきましては、上記のとおり、受贈式を執り行いますので、お知らせいたしますとともに、当日の取材につきましてもよろしく願い申し上げます。

記

- 寄贈品 国宝「内行花文鏡」(平原遺跡出土)複製鏡 1点
雲台 1点
大きさ 直径46.5cm 重さ約10kg(複製鏡本体)
- 寄贈者 上田 恵美 氏
西本熔工所 社長 西本 十三次 氏
吉田着色 社長 吉田 忠司 氏
- 日時 平成30年6月3日(日)14時～
- 場所 糸島市立伊都国歴史博物館 4階研修室
福岡県糸島市井原916
- 受贈式出席者 上田 恵美 氏
西本熔工所 社長 西本 十三次 氏
藤綱合金 社長 藤綱 伸晴 氏
金山媛神社 宮司 藤森 良祐 氏
糸島市長 月形 祐二
糸島市教育委員会 教育長 家宇治 正幸
糸島市教育委員会 教育部長 泊 早苗
糸島市教育委員会 文化課長 岡部 裕俊
糸島市立伊都国歴史博物館館長 角 浩行
ほか寄贈者側関係者等

6. 寄贈にいたる経緯

このたび、故上田富雄氏(上田合金社長・東大阪市)が製作した平原遺跡出土内行花文鏡複製鏡を糸島市にご寄贈いただくことになりました。

上田富雄氏(故人)は、1960年創業の銅合金鑄造業、上田合金の社長で、1996年島根県加茂町(現雲南市)の加茂岩倉遺跡出土の銅鐸(現在、国宝)に接して、古代の人々の技術力の高さに驚き、その技術に迫ろうと翌年銅鐸の精巧な複製品を製作しました。その後も、長年培われてきたわが国のモノづくり技術の継承とこれからの鑄造業の発展を目指し、全国の著名な遺跡の出土品(銅鐸や銅鏡などの金属製品)の複製を手掛けられてこられました。

これら上田氏が製作した複製品のうち最高傑作のひとつといわれるのが、平原遺跡出土の国宝「内行花文鏡」(直径46.5cm)の実物大の複製品です。鑄型に溶かした金属を流し込んでつくる「鑄造」で製作されたもので、鏡面を研磨し、見事な輝きをみせています。このような大型の銅鏡の鑄造は現在の技術でも非常に難しいと言われており、上田氏の鑄物職人としての技術の高さを示しています。また、大きさや文様だけでなく材料の成分比(銅とスズと鉛の比率)も平原遺跡の出土品にあわせられており、国宝「内行花文鏡」の作られた当時の姿を再現したものです。

上田氏は2015年に急逝され上田合金も倒産してしまいましたが、上田合金の鑄物職人であった藤網伸晴氏が、故人の遺志と会社の設備の一部を引き継ぎ、新たに藤網合金を設立されています。

今回、この複製品を、原品の出土地である糸島市で展示・活用していただきたいというご厚意により、上田社長と懇意であった藤森良祐氏(金山媛神社宮司)を通じて、糸島市にご寄贈いただく運びとなりました。

《本件に関するお問合せ先》

糸島市立伊都国歴史博物館(糸島市教育委員会文化課博物館係) 角・河合
〒819-1582 福岡県糸島市井原 916 TEL 092-322-7083 FAX 092-321-9155

寄贈資料の概要

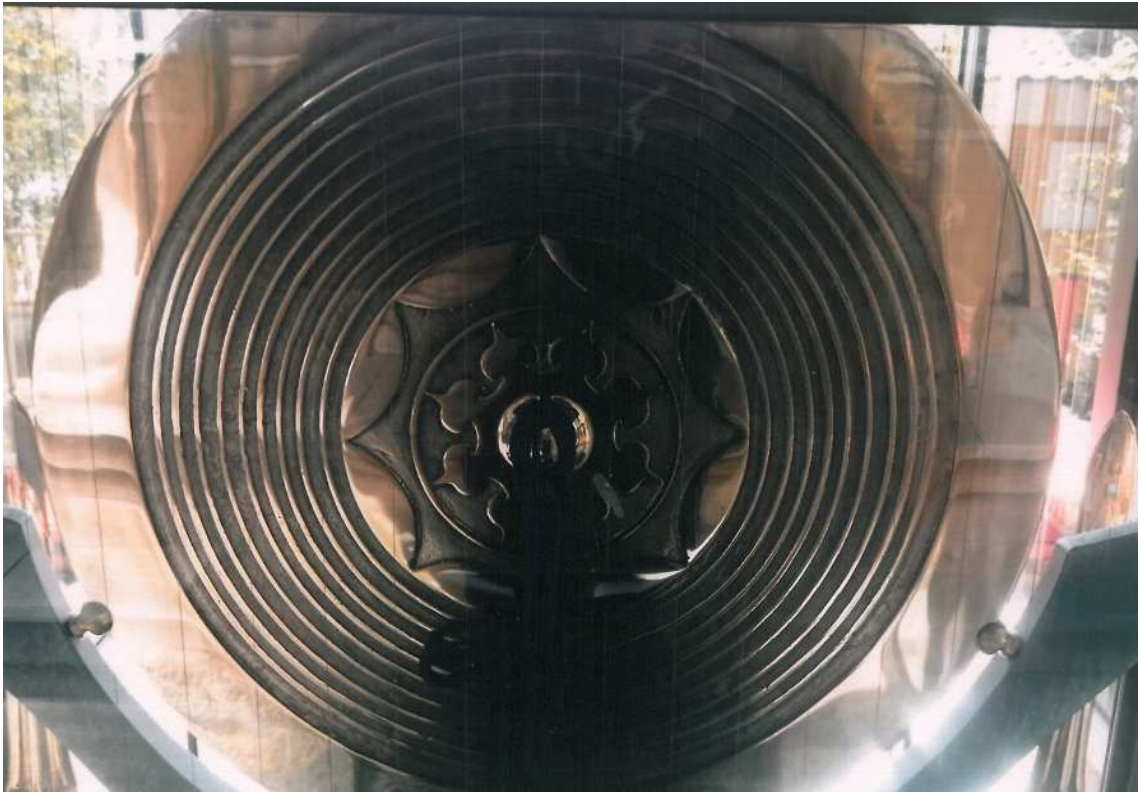
寄贈資料名 国宝「内行花文鏡」(平原遺跡出土)複製鏡 (展示台含む)
大きさ 直径46.5cm、重さ約10kg(複製銅鏡本体)
弥生時代の終わり頃(約1,800年前)の銅鏡で、糸島市有田の平原遺跡1号墓から出土し、同じものが5枚出土している。日本最大の銅鏡として知られる。平成18年6月、国宝指定。



原品 平原遺跡出土の国宝「内行花文鏡」(10号鏡) 直径46.5cmでわが国最大の銅鏡



参考写真 台付(写真は京都府の神社に寄贈されたもの)



参考写真 (裏面・文様面)(写真は京都府の神社に寄贈されたもの)



参考写真 (表面・鏡面)(写真は京都府の神社に寄贈されたもの)

市内在住外国人・留学生等向け

糸島ライフガイドブック (Itoshima Life Guidebook) 完成

1 概要

市では、平成 29 年 5 月に九州大学の外国人留学生等（以下「留学生等」）を地域に温かく迎え入れ、留学生等の生活環境の整備、国際交流・国際教育の推進などにより、地域の国際化を図ることを目的に「糸島市九州大学国際村構想」を策定。併せて、九州大学、セトル(株)、(株)西日本シティ銀行、(株)西日本フィナンシャルホールディングスと糸島市で「地域の国際化に関する協定」を締結した。

その一環として、このたび、市内在住の留学生等が糸島市内でより充実した生活を送ってもらえるよう、糸島市の自然、歴史、産業と生活情報を英語でまとめた「糸島ライフガイドブック (Itoshima Life Guidebook)」を作成した。別冊参照

作成に当たっては、平成 29 年度の九州大学と糸島市の「組織対応型連携研究」を活用し、九州大学大学院工学研究院の田村美香助教との共同研究を行った（田村助教は、平成 28 年度英語版の糸島観光ガイドブック「Explore Itoshima」の作成実績あり）。

2 内容

留学生等が、糸島市で生活するに際し、必要となる情報を留学生等自らの視点により英語で作成。

九州大学全体の留学生等は約 2,400 人。今年の秋の伊都キャンパスへの統合移転完了後は、1,900 人から 2,000 人近くが伊都キャンパスで学ぶことに。その留学生等に糸島市のことを知ってもらい、糸島市での暮らしを充実したものにしてもらうため、ライフガイドブックを作成することになった。

作成に当たっては、留学生等 7 人が、数回に分けて糸島市内を実際に回り、取材して、留学生等の視点で取りまとめた。また、留学生の視点で、糸島の「自然」「歴史」「産業」などのテーマで紹介するバスツアーを 4 回実施した。

糸島市内での生活に役に立つ、「交通アクセス」「バス路線マップ&時刻表」「サイクリングマップ」「ゴミの出し方情報」「緊急時の連絡先」「季節のイベント情報」も掲載。

【概要】

規格：オールカラー、A5 版、30 ページ、英語版

発行部数：2,500 冊

配布場所：糸島市役所、九州大学、糸島市国際交流協会等

発行元：糸島市（九州大学との組織対応型連携研究で作成）

事業費：1,200 千円（研究費 1,000 千円 + 九州大学事務費 200 千円）

【問い合わせ先】

糸島市 地域振興課 定住・学研都市係 大鶴・中村・高嶋

092-332-2062 E-mail chiikishinko@city.itoshima.lg.jp

九州大学大学院工学研究院 田村美香 助教 092-802-3872